

寄稿に就ての會告

○本會誌の内容中未だ第一號に掲出されざる欄目も有之候儘

一應左に列舉御注意を請ひ申候

一、會長講演

二、講演

三、論說

四、報告

五、討議

右第二より第四までの欄に掲載されたる各題目には夫々

「討議」の欄を附し汎く御意見を募るの趣旨に候へば左記

御合の上御寄稿相成度候

一、各題目掲載濟みの號より以下第四回目迄の號まで夫々

「討議」を掲載す

即ち第一號掲載濟みの分は本年八月刊行の第四號を以

て其「討議」の最終締切とす

六、彙報

本欄には成るべく最近に於ける我國各地の工事消息を網

羅致度希望に付き細大となく御寄稿相成度候

七、談論

本欄は技術に關する諸般の題目に對し廣く會員諸君の意

見感想乃至希望の類を掲載可致候

八、拔萃

拔萃には一切寄稿者の署名を附せず候に付き自由に御投

稿相成度候但し拔萃書名及び其刊行月日は特に明記有之

度候

九、新刊紹介

本欄には内外諸雜誌の主なる題目を紹介する外に新著の

論評をも試み可申候間御寄稿相成度但し論評者の署名を

要し申候

一〇、會務

○尙左記の諸點御注意被下度候

一、寄稿は成るべく本會の原稿用紙に願ひ度候原稿用紙は

御請求次第配送可仕候

一、寄稿は成るべく邦文に願度候

一、地名人名等凡ての外國固有名詞は原語の儘に御認め相

成度候

一、圖面は成るべく其儘寫眞に撮れ得るものに願度候寫

眞の類は重ねて謄寫の必要有之其爲め掲載の後ること

ありては遺憾と存候

一、原稿返却御希望の節は其旨申出られ度候

一、演說、論說、報告の各欄に掲載の分は御要求により二

十部までの別刷を贈呈可仕其以上は實費を以て御請求に

應ずべく候

但し談論、彙報欄中掲載の分に對しても右の取計ひに準

ずること可有之候

一、拔萃欄掲載の原稿には薄謝を呈し申候

○本會誌は爾今偶數の月の五日頃發行可致候

○第三號締切期限は來る四月十五日と相定め申候間續々御寄

稿相成度候

士 木 學 會 入 會 申 込 書

入會承認 年 月 日	履 歷 概 畧	入會申込年月日	住 所 及 職 名	會 員 種 格	
大 正 年 月 日		大 正 年 月 日		員	
入會金 納付年月日				年 月 日生	氏名捺印 <small>振假名ヲ付スヘシ</small> (爵、學位稱號ヲ有スル者ハ之ヲ記入スヘシ)
大 正 年 月 日					紹介人 署名捺印 (會員並ニ準員ハ會員二名以上學生員ハ會員若ハ準員一名以上ヲ要ス)